

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性

事業名	特定健康診査等事業						事業コード	050101450288	
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち						政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり
事業担当	所属	05040000 市民総務部 保険年金課						所属長	貴田 直子
会計情報	款	05 保健事業費	項	01 特定健康診査等事業費	目	01 特定健康診査等事業		会計	02 国保
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和11年度	関連計画名	福知山市国民健康保険特定健康診査等実施計画		R6現在の状況	継続中
根拠法令等	国民健康保険法、高齢者の医療の確保に関する法律ほか								
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事業	<input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業	<input type="checkbox"/> 市単独事業	<input type="checkbox"/> 内部庶務の事業	<input type="checkbox"/> その他	()			
関連事業	-								

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	・被保険者の健康増進と医療費の抑制は保険者にとって最大の目的であるが、疾病の重症化を予防するためには、定期的に自身の健康管理を行う習慣を身につけることが必要である。生活習慣病予防を目的とした健診を受け、身体の異常を早期に発見し、専門職による保健指導を行い、または医療機関受診へつなげることにより、被保険者の健康を維持し、重症化に伴う医療費の増大を抑制する。														
対象者	福知山市国民健康保険被保険者(40歳以上)				対象者数	9,676		単位あたりコスト	6.3						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	<input type="checkbox"/> 補助金交付	<input type="checkbox"/> その他 ())						
委託先・実施主体等	一般社団法人福知山医師会、一般社団法人京都府医師会、一般財団法人京都予防医学センター 京都府国民健康保険団体連合会ほか														
事業概要 (箇条書き)	特定健康診査…メタボリックシンドロームに着目した生活習慣病を予防するための指導につなげる健診を実施。 対象者に特定健康診査受診券を送付し、集団健診と委託医療機関での個別健診を実施。 【期間】集団健診:8~12月 個別健診:5月~12月 【自己負担額】500円(40歳、50歳、70歳以上は無料) 特定保健指導…特定健診の結果、メタボリックシンドローム該当者及び予備群に対し、生活習慣病改善のための保健指導。 総合健康管理システム(健康かるて)を活用し、被保険者の健診データを保管、継続的な健診や保健指導を実施。														
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容												
	委託料	43,291	検査業務委託料、電算機器保守料												
	役務費	2,301	特定健診受診券の発送等												
	報酬、共済費、職員手当等	4,267	会計年度任用職員報酬、共済費、手当												
	使用料及び賃借料	98	タクシー乗車料金												
	報償、需用費他	947	講師謝礼、消耗品、問診票印刷費												

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	62,588	63,932	63,777						
	② 補正予算	0	0	0						
	③ 緑越予算	0	0	0						
	前年度緑越	0	0	0						
	次年度緑越	0	0							
小計(①~③)		62,588	63,932	63,777						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0						
	② 国支出金	0	0	0						
	③ 府支出金	45,398	49,905	63,527						
	④ 地方債	0	0	0						
	⑤ その他特財	17,190	14,027	250						
決算情報	① 流充用額	0	0							
	② 配当予算	62,588	63,932							
	③ 執行額	51,994	50,904							
	④ 執行率	83.1%	79.6%							
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.09 / 0.00	1.30 / 0.00	/ /						
	② 概算人件費	720	10,400							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		52,714	61,304							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	特定健康診査等負担金		種類	保険給付費等交付金	実績金額	14,064	決算附属資料	247	
		保険者努力支援分			保険給付費等交付金		20,701		247	
		府縦入金(2号分)			保険給付費等交付金		11,750		247	
									貢	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	受診勧奨対象者の健診受診率	%	- / -	22.1 / -	19.0 / -	/ 23	25
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	特定健康診査受診率(法定)	%	36.8 / 42.5	37.7 / 44	38.4(見込) / 45.5	/ 38	40
	単位あたりコスト		1396.6	1624.8			
	特定健康診査受診率(独自)	%	29.1 / 30	28.3 / 33	36.2(見込) / 45.5	/ 38	特定健康診査等事業
	単位あたりコスト		0.0	1837.2			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	法令により平成20年から各保険者に対し実施が義務付けられたものであり、本市の健康課題である高血圧・糖尿病をはじめとする生活習慣病を改善し、重症化を予防するために健診実施に取り組んだ。	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分に行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>個別健診を行い、受診しやすい環境を提供している。また、集団健診では送迎タクシーを配車するなど、交通手段がない人についても受診できるよう工夫を行っている。(R5年度の利用実績: 19人)</p> <p>500円の負担金設定で受診しやすくしている。</p>	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分に行われたか 	被保険者の健康保持、医療費支出の増加抑制に資するため、健診受診のための啓発や未受診者勧奨など、健診受診率向上に取組んだ。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・国が掲げる市町村国保目標受診率60%に対する達成度が低く推移しているが、制度が開始となった平成20年度の受診率21.9%と比較すると増加している。令和2年度～令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり受診率が低調であったが、改善しつつある。 ・特定保健指導では若年層へのアプローチとして、保健指導の希望時間の指定を実施しており、利用希望者の都合に合わせた柔軟な対応ができる。 ・今までに健診を受けたことがない特定健診未受診者層に向けたアプローチを検討していく。 ・医療費の抑制効果や生活習慣病の発症の有無の効果については、複合的な要因によるものであるため、特定健診事業だけの効果として判定することは困難である。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・継続受診者の他に、健康意識の低い、または健康だと思っているため今まで特定健診を受けたことがない、特に若年層に多い特定健診未受診者層に向けたアプローチや啓発が必要であり、継続的な課題である。若年層に向けた啓発方法として、SNSを活用した広報やイベント、また企業健診のイベントと連携した啓発等を実施していく。 特に、未受診者勧奨事業では、未受診者にとって、受診の後押しとなるようなメッセージや、電話での直接的な呼びかけを取り入れ、受診勧奨効果を高めることで受診者数を増加させる。 ・特定健診受診歴や病院受診歴がない被保険者に対して、健診受診や病院受診に行動を移すようなきっかけづくりを検討し、また特定保健指導については、医療機関とも連携してタイミングを逃さない利用勧奨を行い、年代や支援内容に応じた指導方法を検討していく。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価を踏まえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 廃止／休止	<input type="checkbox"/> 予算拡充	<input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合	(統合事業名: _____)	<input type="checkbox"/> 他事業へ統合	(統合先事業名: _____)

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位:千円)

Ⅰ 事業属性

事業名	国保人間ドック事業						事業コード	050202450259	
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち						政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり
施策名	2 高血圧をはじめとする生活習慣病の予防促進						施策コード	522	
事業担当	所属	05040000 市民総務部 保険年金課		所属長	貴田 直子				
会計情報	款	05 保健事業費	項	02 保健事業費	目	02 疾病予防費		会計	02 国保
計画期間	開始年度	昭和59年度	終了予定年度	令和11年度	関連計画名	国民健康保険特定健康診査等実施計画、データヘルス計画		R6現在の状況	継続中
根拠法令等	国民健康保険法ほか								
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 国府補助事業	<input type="checkbox"/> 市単独事業	<input type="checkbox"/> 内部庶務の事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他	(国民健康保険法に基づく事業)			
関連事業	-								

Ⅱ 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	・被保険者の健康増進と医療費を抑制することは、保険者にとって最大の目的であるが、疾病的重症化を予防するためには、定期的に自身の健康管理を行う習慣を身につけることが必要である。人間ドックは、健康診査とがん検診が同時に含まれる総合的な健診であり、生活習慣病及び悪性新生物の早期発見、また重症化予防を目的として行うことにより、被保険者の健康の保持増進を図る。														
対象者	福知山市国民健康保険被保険者(30歳以上)				対象者数	10,401		単位あたりコスト	1.9						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	<input type="checkbox"/> 補助金交付	<input type="checkbox"/> その他 ())						
委託先・実施主体等	福知山医師会														
事業概要 (箇条書き)	【実施医療機関】市立福知山市民病院・京都ルネス病院 【検査内容】基本的検査(問診・身体測定・理学的検査・血圧)・尿検査・血液検査(脂質・貧血・血糖・肝機能・腎機能・尿酸)・心電図検査・腹部超音波検査・腫瘍マーカー検査・胃部検査(胃透視か胃カメラか選択)・胸部レントゲン検査・便検査(便潜血2日法) 【自己負担金額】14,600円(委託金額の約4割分) 【実施期間】令和5年5月8日～令和6年3月30日														
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容												
	委託料	17,524	人間ドック業務委託料												
	役務費	62	受診決定通知書発送												
	需用費	37	人間ドック関連帳票・申込書印刷												

Ⅲ 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	20,161		20,140		19,480		0			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 緑越予算	0		0		0		0			
	前年度緑越	0		0		0					
	次年度緑越	0		0							
小計(①～③)	20,161		20,140		19,480		0				
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	0		0		0		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	20,161		20,140		19,480		0			
決算情報	① 流充用額	0		0							
	② 配当予算	20,161		20,140							
	③ 執行額	17,160		17,623							
	④ 執行率	85.1%		87.5%							
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.32	/	0.00	0.22	/	0.10	/			
	② 概算人件費	2,560		2,040							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	19,720		19,663								
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	人間ドック分繰入金		種類	一般会計繰入金		実績金額	14,674			
		一般保険料医療・現年分			国民健康保険料			2,949			
							決算附属資料	247			
								246			
								頁			

Ⅳ 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	特定健診受診率(法定報告値)	%	36.8 / 42.5	37.7 / 44	未確定 / 45.5	/ -	40
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	人間ドック受診者数	人	810 / 900	780 / 890	788 / 950	/ -	-
	単位あたりコスト		22.2	22.0	22.4		
	受診啓発回数(個別勧奨含)	回	4 / 3	3.5 / 3	5 / 3	/ -	国保人間ドック事業
		単位あたりコスト	4489.8	3432.0	3524.6		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診査とがん検診を同時に受診することができるようにしてることで、疾病の早期発見、早期治療につなげた。 ・医療費を抑制するため、国保加入者自ら健康に関し生活習慣の改善に対する意識を高めていただく。 	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分に行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・診療報酬に準じた額で福知山医師会指定の医療機関に検査を委託し、受診者の自己負担金については他の健診との負担額を考慮し設定している。 	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間ドックを受診することで身体の異常を発見して治療につなげることができた。 ・疾患の重症化予防ができ、将来的に医療費の抑制が期待できるため有効。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題		<ul style="list-style-type: none"> ・被保険者の健康増進と疾病の重症化予防、将来の医療費を抑制するための事業である。取得した情報は、健康管理システムにおいて管理を行い、特定保健指導が必要な人は案内を送付し、生活習慣改善に向けての指導を行っている。国保医療費における生活習慣病割合は横ばいであるが、引き続き指導を継続し、重症化の予防に努める。 ・医療費の抑制効果や生活習慣病の発症の有無の効果については、複合的な要因によるものであるため、人間ドック事業だけの効果として判定することは困難である。 	
改善策		<ul style="list-style-type: none"> ・広報ふくちやまやSNSなどを利用し、特定健診も含めて受診者のさらなる増加また定期的な健康管理の習慣づけを目指し、個別通知等で啓発を行う。 	

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価を踏まえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: _____)	<input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: _____))
--------	--	---

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位:千円)

Ⅰ 事業属性

事業名	糖尿病腎症重症化予防事業						事業コード	050202450293	
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち						政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり
施策名	2 高血圧をはじめとする生活習慣病の予防促進						施策コード	522	
事業担当	所属	05040000 市民総務部 保険年金課		所属長	貴田 直子		会計情報	02 国保	決算附属資料
会計情報	款	05 保健事業費	項	02 保健事業費	目	02 疾病予防費	会計	02 国保	255
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和11年度	関連計画名	福知山市国民健康保険保健事業計画	R6現在の状況	継続中	
根拠法令等	国民健康保険法、京都府版糖尿病性腎症重症化予防プログラム第4版、保険者努力支援制度								
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業	<input type="checkbox"/> 市単独事業	<input type="checkbox"/> 内部庶務の事業	<input type="checkbox"/> その他	()	関連事業	-	

Ⅱ 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	・糖尿病から腎症への移行を遅延させるためには、早期からの糖尿病の発見及びコントロール(治療)が必要になる。本事業により腎症への移行、糖尿病の重症化を予防することで、人工透析の新規導入数を減少させ、医療費の抑制、被保険者のQOLの向上を目指す。													
対象者	福知山市国民健康保険被保険者(40歳以上)				対象者数	9,676		単位あたりコスト	0.7					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付				その他	()								
委託先・実施主体等														
事業概要 (箇条書き)	【①医療機関未受診者対策】内容:前年度特定健康診査の結果、重症化リスクの高い、医療機関未受診者に対しての受診勧奨。方法:レセプトデータ確認後、対象者に受診勧奨の通知文書・アンケートを送付。その後の受診を電話やレセプトにより確認。適宜訪問にて未受診勧奨をする。 【②治療中断者対策】内容:通院中の患者で、最終受診日から6か月以上経過して受診した記録のない者に対しての受診勧奨。方法:レセプトデータ確認後、対象者を抽出し通知文書・アンケートを送付。その後の受診を電話やレセプトにより確認。適宜訪問にて未受診勧奨をする。 【③ハイリスク者対策】医療機関受診中であるが腎症発症の可能性が高く、より厳格な保健指導が必要な人にかかりつけ医了解のもと通知を送付し保健指導希望者に保健指導を実施。													
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容											
	需用費	187	トナーカートリッジ											
	役務費	28	郵送料											
	使用料及び賃借料	55	健康管理アプリ(TOMOCO)アカウント利用料											

Ⅲ 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)					
予算情報	① 当初予算		274		274		318		0			
	② 補正予算		0		0		0		0			
	③ 繰越予算		0		0		0		0			
	前年度繰越		0		0		0		0			
	次年度繰越		0		0		0		0			
	小計(①~③)		274		274		318		0			
予算財源内訳	① 一般財源		0		0		0		0			
	② 国支出金		0		0		0		0			
	③ 府支出金		274		274		318		0			
	④ 地方債		0		0		0		0			
	⑤ その他特財		0		0		0		0			
決算情報	① 流充用額		0		0							
	② 配当予算		274		274							
	③ 執行額		13		270							
	④ 執行率		4.7%		98.5%							
人件工数	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤職員		0.07 / 0.00		0.70 / 0.42		/ /		/ /			
	② 概算人件費		560		6,776							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		573		7,046								
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	保険者努力支援分		種類	保険給付費等交付金		実績金額	269			
									決算附属資料			

Ⅳ 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	医療機関受療率(①未受診②治療中断)	%	①25②18.2 / ①15②35	①40②0 / ①50②25	①40.5②22.8 / ①50②25	/ ①42②50	①50②50
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	新規透析導入者(社保離脱加入除く)数(自込数値)	人	5 / 3	10 / 0	4 / 0	/ 0	0
	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	【通知率】①未受診者②治療中断者	%	①100②100 / ①100②100	①100②100 / ①100②100	①100②100 / ①100②100	/ ①100②100	①100②100
	単位あたりコスト	①0.1 ②0.1	①0.13 ②0.13	①2.7 ②2.7			
【保健指導終了率】ハイリスク者対策	%	0 / -	50 / -	未確定 / -	/	/ 糖尿病腎症重症化予防事業	
	単位あたりコスト	0.0	0.0				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> ・健診受診者からハイリスク者を抽出し、受診を勧奨することで被保険者の早期治療につなげることができた。 ・治療中の患者に、病態の説明をし、生活・食習慣の聞き取りを行い、患者本人の意向とライフスタイルに則した計画を立案することができた。月1回計6か月間の保健師・栄養士による保健指導を実施することで、糖尿病性腎症重症化予防を目指す。 (面談の場合は1回当たり60~90分程度実施。医療で対応困難な部分を保健事業として扱い、フィードバックすることができた。) 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分に行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・国保連合会のデータを活用して対象者を抽出しており、コストは抑えられた。 ・委託した場合の費用対効果が低いと考えられるため、未治療者や治療中断者へは直接受診勧奨や保健指導を行うことで医療受診につなげる。 ・高血糖未受診者への再勧奨のため、訪問や電話連絡を実施しており、生活状況や治療状況などを把握した上で、対象者に応じた保健指導を行っている。 ・直近6か月間の糖尿病治療中断者にも受診勧奨を実施し、アンケートも同封して治療を行っていない理由を把握しながら治療中断者を受診につなげるための取組みを実施している。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度によって受診率の変化はあるものの、人工透析を導入した場合、患者一人あたりの人工透析にかかる医療費が高額になるため、保健所や福知山医師会などの関係機関と連携をとり重症化を防ぐため取り組んだ。 ・受療率は医療再開の直接的指標となり、また医療機関への受診は、レセプトを確認することで把握ができるため、適切な指標であると考える。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題		<ul style="list-style-type: none"> ・本市の国保糖尿病者数は1,510件(令和4年12月分)であり、増加傾向にある。それに伴い糖尿病性腎症も増加しており、透析導入者が増加している。本事業を継続することで早期発見や生活習慣の見直しにつながるため、一定の効果はあると考える。 ・腎症発症を予防するためにもハイリスク者への保健指導は重要であるため、糖尿病治療中の人に腎症発生の可能性が高いハイリスク者への保健指導をR3年度から実施している。 ・令和5年度はハイリスク者への保健指導を実施できるよう福知山医師会にて事業説明を実施、また保健所や国保連保健事業支援・評価委員会からの助言を受け事業の周知・見直しを図った結果、市内医療機関の協力もあり、かかりつけ医から了解がとれた75人中16人に保健指導を実施することができている。 ・R5年度はハイリスク者16人に健康指導をしており、利用者がある可能性を考え新規契約しシステム利用ができるよう準備したが利用者はいなかった。 	
改善策		<ul style="list-style-type: none"> ・健康医療課や保健所、医師会の協力は必要不可欠であるため、情報共有し、事業を実施していく。生活指導については保健師や栄養士による適切な指導を行う必要がある。 ・保健指導と医療連携が重要となるため、患者の同意を得たうえで、2・4・6回目の面談後に保健指導の内容や把握した内容を医師に提出し、また、保健指導にあたっての不明点等はかかりつけ医に確認するようにし、連携強化を努めている。 ・地区医師会の承諾を得た上でかかりつけ医了解のもと施策展開することが重要であるため、市の現状を共有するなどして協力が得られるよう丁寧な説明を重ねていく。 ・令和5年度の結果を踏まえ、引き続き中丹西保健所や医療機関との連携を図り事業展開していく。 	

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)

VII 評価を踏まえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 他事業を統合	<input type="checkbox"/> 廃止／休止 (統合事業名:)	<input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合	<input type="checkbox"/> 予算縮減 (統合先事業名:)
--------	--	---	--	---

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位:千円)

Ⅰ 事業属性

事業名	成人健康診査事業						事業コード	040104410357	
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち						政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり
事業担当	所属	2 高血圧をはじめとする生活習慣病の予防促進						施策コード	522
会計情報	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	04 保健指導費		会計	01 一般会計
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	健康増進計画		R6現在の状況	継続中
根拠法令等	健康増進法、福知山市健康診査事業実施要綱								
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業	<input type="checkbox"/> 市単独事業	<input type="checkbox"/> 内部庶務の事業	<input type="checkbox"/> その他	()			
関連事業	-								

Ⅱ 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	40歳以上の生活保護受給者等無保険者に対し、健診の機会を保障することにより、高血圧・糖尿病・脂質異常症などの生活習慣病を早期に発見し、食事・運動・禁煙など生活习惯改善を図り、疾病を未然に防ぐことを目的とする。													
対象者	40歳以上の生活保護受給者等無保険者				対象者数	667		単位あたりコスト	5.3					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	<input type="checkbox"/> 補助金交付	<input type="checkbox"/> その他	()								
委託先・実施主体等	京都予防医学センター・福知山医師会													
事業概要 (箇条書き)	【実施方法】集団健診:各保健福祉センターや地域公民館で実施(9月~12月) 個別健診:福知山市内の30指定医療機関(5月~12月) 【健診内容】問診・身体計測・医師の診察・血圧測定・検尿・血液検査・結果説明 【自己負担金】無料													
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容											
	需用費	23	消耗品費(PPC用紙・色上質紙等事務用品購入)、印刷製本費(健診結果票の作成)											
	役務費	3	郵送料											
	委託料	435	健診業務委託料(集団健診・個別健診)											

Ⅲ 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	796			796			763	0		
	② 補正予算	0			0			0	0		
	③ 緑越予算	0			0			0	0		
	前年度緑越	0			0			0			
	次年度緑越	0			0						
小計(①~③)		796			796			763	0		
予算財源内訳	① 一般財源	438			415			330	0		
	② 国支出金	0			0			0	0		
	③ 府支出金	358			381			433	0		
	④ 地方債	0			0			0	0		
	⑤ その他特財	0			0			0	0		
決算情報	① 流充用額	0			0						
	② 配当予算	796			796						
	③ 執行額	611			461						
	④ 執行率	76.8%			57.9%						
人件工賃	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.35	/	0.01	0.25	/	0.38	/	/		
	② 概算人件費	2,828			3,064						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		3,439			3,525						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	健康増進事業			種類	衛生費府補助金		255	決算附属資料		

Ⅳ 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	要医療者受診率(集団健診)	%	100	/	100	/	67	/	100	/	100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	受診者数	人	49	/	60	/	38	/	60	/	60
	単位あたりコスト		13.4		14.5		12.1				
	単位あたりコスト		7		/		/		/		成人健康診査事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	健康増進法に基づき実施。 健診を受診し、本市に多い高血圧を中心とした生活習慣病の早期発見・早期治療を行うことは健康な生活を送るために必要不可欠である。特に生活保護受給者等無保険者は食事等が偏りやすい傾向にあり、健診で健康状態を把握することは重要である。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分に行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	生活保護等の無保険者で市が把握している対象者に対して、受診しやすいように個別医療機関で受診できる受診票を個別通知に同封して送付した。 全受診者の内、87%が個別健診を受診した。	<input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	生活習慣病の早期発見・早期治療を行うことで、長期的にみて医療費の削減につながると考えるが、成果が出るまでには時間を見る。 要医療者には、医療機関での受診を促し、適切な医療につながっている。 健診結果は社会福祉課と共有し、必要があれば同伴で指導等を実施している。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題		受診者の約3割は要医療で新たに治療が必要な疾患が見つかっている。また、脂質異常・腎臓で異常値の割合が高い傾向にあり、特に食生活についての指導が必要と考えられる。こうしたことから、訪問等による指導や受診勧奨のより一層の強化が必要であり、ケースワーカーとの連携が益々重要である。	
改善策		個別健診受診票の個別通知は継続し、新規受診者や継続受診者を増やしていく。社会福祉課と連携し、ケースワーカーからも直接受診勧奨を行う。また、40歳以上の生活保護受給者等無保険者は循環器(血圧、脂質)の健康課題が多い為、社会福祉課と連携し、健康だよりの発行時には栄養士の視点も入れるなど、食生活を中心とした生活習慣を改善できる方法を検討していく。	

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価を踏まえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: _____)	<input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: _____))
--------	--	---

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位:千円)

Ⅰ 事業属性

事業名	高血圧制圧のまちプロジェクト事業						事業コード	040104410389					
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち						政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり				
施策名	2 高血圧をはじめとする生活習慣病の予防促進						施策コード	522					
事業担当	所属	15050000 福祉保健部 健康医療課						所属長	田和 昌弘				
会計情報	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	04 保健指導費	会計	01 一般会計	決算附属資料	151	頁		
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市健康増進計画	R6現在の状況	継続中					
根拠法令等	福知山市健康増進計画												
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事業	<input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業	<input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務の事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他	()							
関連事業	アクティビティ推進事業・健康増進計画推進事業												

Ⅱ 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	医療データの分析により、高血圧症の患者が京都府平均より多く、また、中丹管内の近隣市と比べても多い傾向にあることが判明している。市民の健康寿命を延伸するために、脳血管疾患や心疾患、腎臓病や認知症等多くの疾病リスクを高める高血圧症予防に関する取り組みを早い段階から実施し、市民が主体的に取り組む健康づくりを推進する。													
対象者	全市民				対象者数	76,000		単位あたりコスト	0.2					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付				その他	()								
委託先・実施主体等	株式会社イーウェル													
事業概要 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> 市立福知山市民病院と連携した高血圧なるほど講座(予防プログラム)の開催と事後フォロー。 年代層に応じた講座の開催(小学生向け、若い世代等)及び減塩給食の継続と食育支援。 広報ふくらやま、SNS、中央図書館等での啓発や野菜メニューの考案・紹介。 福知山KENPOSを活用したアンケート及び血圧データ等調査分析 *活動実績指標を変更:R4より健診受診ポイント付与人数(福知山KENPOS申請等) 													
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容											
	報償費	20	食生活改善推進員 健康講座出務謝礼											
	需用費、備品購入費	300	検査必要物品、講座食材料費、事務用品、血圧計、ボイスレコーダー											
	役務費、使用料及び賃借料	43	郵送料(講座に関する勧奨通知、参加者フォロー通知等)、教室会場使用料											
	委託料	363	KENPOSアプリを活用した血圧データ分析等業務											
	負担金補助及び交付金	780	KENPOS交換ポイント利用料											

Ⅲ 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	1,311		2,601		1,156			0
	② 補正予算	0		0		0			0
	③ 緑越予算	0		0		0			0
	前年度緑越	0		0		0			
	次年度緑越	0		0					
	小計(①~③)	1,311		2,601		1,156			0
予算財源内訳	① 一般財源	1,311		2,601		828			0
	② 国支出金	0		0		0			0
	③ 府支出金	0		0		328			0
	④ 地方債	0		0		0			0
	⑤ その他特財	0		0		0			0
決算情報	① 流充用額	42		0					
	② 配当予算	1,353		2,601					
	③ 執行額	804		1,507					
	④ 執行率	59.4%		57.9%					
人材工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.91 / 0.44		1.04 / 0.88		/			/
	② 概算人件費	8,512		10,784					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		9,316		12,291					
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	高血圧制圧のまちプロジェクト事業(きょうと地域連携交付金)	種類	衛生費府補助金	実績金額	343	決算附属資料	25

Ⅳ 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標		R3	R4		R5		R6		最終目標		
	疾病別標準比(京都府が1.0)			ポイント	1.23	/	1	1.25	/	1	/	
	国保1,000人当たりの患者数			人	453.3	/	453.3	461.4	/	435.2	447.7	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標		地区	1	/	1	3	/	3	5	/	
	単位あたりコスト			261.0		268.0		301.4		8		
	福知山KENPOS血圧記録機能利用者(月3回以上)		人	0		90	/	0	839	/	1000	
	単位あたりコスト		0.0		1.0		1.8		2000			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療データから本市の特徴・課題を明確にして、各種事業を進めることができた。 ・図書館での展示や血圧計設置での測定啓発、ホームページやSNS等を活用した情報発信等、様々な機会を通じて広く市民に減塩・減塩に関する啓発を実施できた。 ・福知山KENPOSの機能を活用し、生活習慣改善や健診受診勧奨に取り組めた(血圧記録機能の追加)。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分に行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民病院・保健所等、公的な関係機関や必要な専門職と連携し、事業を実施できている。医師の講演については、動画配信を行い、誰もが視聴できる工夫を行った。 ・給食の減塩については、全市立小中学校を対象としており、また、給食センター栄養教諭と情報共有しながら、学校配布物を活用した食育を行うなど、効率的に取り組めた。 ・小学生を対象とした講座では、参加者のみならずその家族や友人等を巻き込んだ生活習慣改善や啓発につながり、効果的であった。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民病院と協働した予防プログラム講座は、高血圧症罹患者の割合が高い地域から順に実施を進めており、生活習慣改善に向けての指導や事後フォロー支援が継続できた。 ・減塩モニターについては、教室に参加された方を主に対象として、動機付けを行った後、行動変容につながるケースが見られ、効果的であった。 ・小学生向けの講座については早い段階からの意識づけに寄与する事業となる。また、家族等への波及効果が高いと考える。 ・福知山KENPOSを活用したアンケート及び血圧データ等調査分析の結果については、今後の事業展開に活用できる。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題		<ul style="list-style-type: none"> ・高血圧予防の為の実践プログラムについては、広報等を工夫して定員参加者数を確保し、事後アプローチも行ってきている。今後もより効果を高めていくための工夫を検討する。 ・中央図書館・SNS等での啓発、野菜メニューの考案・紹介等は啓発の手法として効果的であるので、継続、推進していく。 ・給食センターと協力しながら減塩給食や食育の継続・小学生向け講座の開催など、若い世代からのアプローチを引き続き推進していきたい。 ・今回の福知山KENPOSを活用したアンケート及び血圧データ等調査分析結果等をベースとした事業展開が必要。 	
改善策		<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの講座内容を再確認し、全市的に取り組んでいくように年次計画を立てる。 ・福知山KENPOSを活用した、生活習慣改善や健診受診勧奨を継続して取り組む。 ・福知山KENPOSを活用したアンケート及び血圧データ等調査分析結果等を活用した事業展開の検討と実施。 	

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価を踏まえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 廃止／休止	<input type="checkbox"/> 予算拡充	<input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合	(統合事業名:)	<input type="checkbox"/> 他事業へ統合	(統合先事業名:)